

各位



平成21年1月28日

会社名 日本精線株式会社  
代表者 代表取締役社長 近藤 龍夫  
上場取引所 東証第一部、大証第一部  
コード番号 5659  
問い合わせ先 経理部長 若松 壮一  
当社の親会社 大同特殊鋼株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小澤 正俊

### 平成21年3月期業績予想(連結・個別)並びに期末配当予想の修正

〔1〕平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想につきまして、平成20年10月29日発表の業績を下記のとおり修正いたします。

#### 記

(1)平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)連結業績予想の修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	38,800	2,120	2,110	1,230	37.96
今回修正予想(B)	33,600	520	530	290	8.95
増減額((B) - (A))	5,200	1,600	1,580	940	29.01
増減率	-13.4%	-75.5%	-74.9%	-76.4%	-
(参考)平成20年3月期実績	35,572	2,709	2,683	1,532	50.76

(業績予想修正の理由)

米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融危機の影響により、国内外の景気が急速に悪化し、当社グループが関係する自動車、デジタル家電、半導体業界等において昨年秋季以降、相次いで大幅な減産や設備投資の延期・中止を決定した結果、当該業界への関連売上高が大幅に減少いたしました。加えて、ニッケル価格の急落が需要家の買い控えや在庫調整の動きを加速させ、当社グループを巡る受注環境は厳しい状況となり、この状況は第4四半期も続くことが予想されます。

斯かる状況を踏まえ、当社グループでは工場の計画的な操業停止や雇用調整助成金受給申請による雇用調整をはじめ諸経費節減によるコスト削減に取り組んでおりますが、前回業績予想を大きく下回る見通しとなったため、誠に遺憾ではありますが、連結及び個別の業績予想を下方修正することいたしました。

(2)平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)個別業績予想の修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	37,400	2,000	2,010	1,150	35.49
今回修正予想(B)	32,600	470	500	270	8.33
増減額((B) - (A))	4,800	1,530	1,510	880	27.16
増減率	-12.8%	-76.5%	-75.1%	-76.5%	-
(参考)平成20年3月期実績	33,574	2,496	2,504	1,415	46.90

(業績予想修正の理由)

連結業績予想の修正に伴ない行うものです。

〔2〕 期末配当予想の修正について

(1)平成21年1月28日開催の取締役会において、平成21年3月末の1株当たり配当予想について、次の通り修正することを決議いたしました。

	中間	期末	年間
前回予想 (平成20年4月28日)	5.0円	5.0円	10.0円
今回予想	5.0円	2.0円	7.0円
前期(平成20年3月期)	4.0円	6.0円 (普通配当 4.0円) (記念配当 2.0円)	10.0円 (普通配当 8.0円) (記念配当 2.0円)

(2)上記修正の理由

当社は、業績に対応しつつも安定的かつ継続的に配当を行うことを基本としており、この基本方針のもと、株主の皆様への還元及び株主価値の向上を目指してまいりたいと考えております。

しかしながら、平成21年3月期の期末配当につきましては、今回の業績修正の通り当期純利益の大幅な減少が見込まれること、また今後の経営環境も極めて不透明であること等を勘案し、誠に遺憾ではありますが、1株あたり2.0円に修正させていただきます。

なお、平成21年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正を真摯に受けとめ、経営責任を明確とするため、役員報酬の減額を実施いたします。

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想値と異なる場合があります。